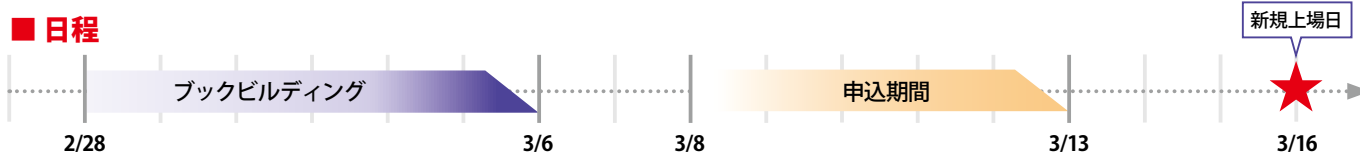


## IPO銘柄 ほぼ日 (3560・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3560	100株	公募: 25.00万株 売出: 15.00万株 (OA6.00万株)	2,250円~2,350円 (15.1倍)	みずほ証券



## 糸井重里氏率いるコンテンツ提供、およびネット通販会社

### ■ 事業内容

著名コピーライターの糸井重里氏が率いるコンテンツ企画、制作会社。オリジナルコンテンツが中心の無料ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」で集客し、オリジナル企画の文具や日用雑貨をネット通販により販売している。主力の「ほぼ日手帳」は、16年度版を61万部販売。アパレルや雑貨、食品、書籍などの企画、販売も行っている。このほか、外部のクリエイターとコラボレーションしたイベントの開催などで集客し、ネット販売を行う「TOBICHI (とびち)」、犬や猫のソーシャルメディアアプリ「ドコノコ」といった新たな取り組みにも力を入れている。

### ■ 特徴

「ほぼ日刊イトイ新聞」の開設は99年6月。「やさしく、つよく、おもしろく。」を行動指針に、独自性の強いコンテンツの開発を続けている。コンテンツは糸井社長がサイト開設以来毎日更新しているコラム「今日のダーリン。」のほか、エッセイ、著名人との対談、インタビュー記事などを掲載。膨大な閲覧者数を誇るものの広告掲載はなく、集客に特化している。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

17年8月期の非連結経常利益は前期比3.6%減の4億8,400万円を計画する。「ほぼ日手帳」が売上高の約7割を占めており、依存度の高さは懸念材料。その他の通販ビジネスではアパレル「ほぼ日の水沢ダウン」、食品「カレーの恩返し」がヒットしている。

### ■ 定性分析

著名人が設立し、現在も経営する特異なIPOとして多くの投資家に注目されている。実態への評価、成長性への期待はそれほど高くないが、話題性が先行している。手帳に次ぐ収益柱の育成は急務で、その具体的な施策が待たれる。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は10.8億円。ベンチャーキャピタル保有株はなく、需給面は比較的良好となっている。IPO銘柄数が急増する3月の上場ではあるが、他の案件とは関係なく、話題性先行で初値を上昇させそうだ。

(小泉健太)

### ■ 類似企業

ほぼ日 (3560・JASDAQ)	予想PER15.1倍 (仮条件上限)
Hamee (3134・東証1部)	予想PER35.0倍
SHO-BI (7819・東証1部)	予想PER24.0倍

### ■ 引受証券

みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、岡三証券、SMBCフレンド証券、丸三証券、マネックス証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年8月期(実績)	3,243	—	406	—	304	—	152.2	45.0
16年8月期(実績)	3,767	16.2	502	23.6	305	0.3	152.7	45.0
17年8月期(会社予想)	3,817	1.3	484	▲3.6	329	7.8	155.5	45.0

※ 14年8月期は5カ月間の変則決算。16年12月に株式分割(1株→100株)を実施。  
15年8月期、16年8月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年8月期	20,000	2,723	1,773	10	886.8	65.1	18.8
16年8月期	20,000	3,154	1,985	10	992.8	62.9	16.2

※ 15年8月期、および16年8月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	糸井 重里	720,000	35.78
2	池田 あんだ	480,200	23.86
3	山本 英俊	401,900	19.97
4	ほぼ日従業員持株会	278,100	13.82
5	笠井 宏明	21,800	1.08
5	小泉 絢子	21,800	1.08
5	細井 潤治	21,800	1.08
8	篠田 真貴子	20,000	0.99
8	永田 泰大	20,000	0.99

## 経営陣

	役職	氏名
	代表取締役	糸井 重里
	取締役 商品事業部長	小泉 絢子
	取締役 ほぼ日編集部長	永田 泰大
	取締役 CFO管理部長	篠田 真貴子
	取締役 マーケティング部長	細井 潤治
	取締役	山本 英俊
	監査役	小池 敕夫
	監査役	後藤 和年

※ 17年2月20日に常勤監査役の上田淳子氏が逝去。  
後任は決まり次第、公表の予定。

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。